

2025 年 6 月 22 日（日）

全国漢文教育学会第 40 回大会（通算 70 回）総会

於 國學院大学学術メディアセンター1 階常磐松ホール

議事

1. 会務報告

令和 6 年（2024 年）

4 月 5 日（金）～5 月 2 日（木） 評議員選挙

5 月 31 日（金）～6 月 14 日（金） 会長選挙

7 月 12 日（金）・13 日（土） 第 39 回（通算 69 回）大会 於北海道教育大学旭川校

8 月 8 日（木）・9 日（金）・10 日（土） 第 40 回漢文教育研修会 於斯文会館講堂

令和 7 年（2025 年）

2 月 28 日 『新しい漢字漢文教育』75 号発行

3 月 8 日 2024 年度研究発表会 於斯文会館会議室

2. 令和 6 年度会計報告【資料 1】

3. 令和 7 年度予算【資料 2】

4. 会則の一部改正（総務）

（現行）第 7 条（役員の任期）

本会役員の任期は以下のとおりとする。

- ① 顧問を除く役員の任期は 2 年とし、重任することができる。
- ② 会長は、連続 3 任はできない。
- ③ 顧問を除く役員は満 70 歳を超えて在任できない。ただし、年度の途中で満 70 歳に達した場合は、当該年度末日まで在任できるものとする。
- ④ 顧問の任期は終身とする。
- ⑤ 役員の任期は、大会の際の評議員会で承認された時点を起点とする。

（改訂案）第 7 条（役員の任期）

本会役員の任期は以下のとおりとする。

- ① 役員の任期は、評議員選挙実施年の 10 月 1 日を起点とし、2 年間とする。役員の重任についてはこれを妨げない。
- ② 会長は、連続 3 任はできない。
- ③ 顧問を除く役員は満 70 歳を超えて在任できない。ただし、年度の途中で満 70 歳に達した場合は、当該年度末日まで在任できるものとする。
- ④ 顧問の任期は終身とする。
- ~~⑤ 役員の任期は、大会の際の評議員会で承認された時点を起点とする。~~

5. 投稿規定の改正・査読規定の制定【資料3】

6. 次期大会開催校（案）（大会）

開催校	山形大学
準備会代表	三上英司教授
予定期日	2026年6月26日（金）・27日（土）

7. その他

令和6年度会計収支決算報告書

自)令和6年4月1日
至)令和7年3月31日
(単位:円)

《収入の部》

項 目	予算額	決算額	備 考
前年度繰り越し	¥1,184,815	¥1,184,815	
会員会費	¥2,000,000	¥2,180,000	
会誌販売	¥30,000	¥28,420	
印税	¥20,000	¥26,714	秀英予備校・汐文社
利子(利息)	¥10	¥838	利子(ゆうちょ銀行) ※研究部口座残高を含む
その他	¥0	¥52,000	大会参加費
	¥0	¥56,932	8月研修会
合 計	¥3,234,825	¥3,529,719	

《支出の部》

項 目		予算額	決算額	備 考
総務費	通信費	¥200,000	¥124,899	会誌発送・切手・葉書等
	消耗品費	¥200,000	¥4,392	封筒・コピー用紙・プリンタ用消耗品・文具等
	印刷費	¥50,000	¥18,164	学会案内等
	交通費	¥150,000	¥4,030	事務交通費・幹事交通費等
	事務処理費	¥300,000	¥167,075	事務委託・発送委託・ホームページ管理等
会議費	会議費	¥15,000	¥2,940	大会等打合せ等
	会場費（施設使用料）	¥260,000	¥260,000	斯文会館
事業費	会誌発行費	¥1,050,000	¥1,176,000	年1回刊行
大会費	本部費	¥250,000	¥210,000	
	講師謝礼	¥30,000	¥5,000	
その他		¥0	¥19,800	佐藤前会長献花代
予備費		¥729,825	¥1,537,419	
合 計		¥3,234,825	¥3,529,719	
差し引き残額(収入合計-支出合計)		¥0	¥0	
次年度繰越金			¥1,537,419	

野村基金残額	¥2,016,280
--------	------------

令和 7 年 4 月 19 日

全国漢文教育学会 会 計 有木 大輔

会計監査報告

令和6年度会計収支決算について、会計帳簿及び各領収書綴り、各預金通帳の監査を行いました。

令和 7 年 4 月 19 日

全国漢文教育学会 監 事

坂口 三樹



全国漢文教育学会 監 事

坂口 義浩



令和 7 年度会計収支予算書

自)令和7年4月1日
至)令和8年3月31日
(単位:円)

《収入の部》

項 目	予算額	備 考
前年度繰り越し	¥1,537,419	
会員会費	¥2,000,000	
会誌販売	¥30,000	
漢文研修会受講料	¥260,000	
印税	¥20,000	秀英予備校・汐文社
利子(利息)	¥600	利子(ゆうちょ銀行)
合 計	¥3,848,019	

《支出の部》

項 目	予算額	備 考
総務費	通信費	¥200,000 会誌発送・切手・葉書等
	消耗品費	¥150,000 封筒・コピー用紙・プリンタ用消耗品・文具等
	印刷費	¥20,000 学会案内等
	交通費	¥10,000 事務交通費・幹事交通費等
	事務処理費	¥200,000 日当・ホームページ管理等
会議費	会議費	¥15,000 大会等打合せ等
	会場費 (施設使用料)	¥260,000 斯文会館
事業費	会誌発行費	¥1,200,000 年1回刊行
大会費	本部費	¥331,000
研究会費	研究発表会準備費	¥5,000
	講演会講師謝礼	¥5,000
予備費(※次年度繰り越し金)		¥1,452,019
合 計	¥3,848,019	
差し引き残額(収入合計-支出合計)		¥0

『新しい漢字漢文教育』投稿規程（案）

1. 応募資格

全国漢文教育学会会員に限る。

2. 応募原稿の体裁、表記等

応募原稿は和文によるもので、原則として「論叢」「文苑」「実践研究報告」「教材研究」の四領域とし、未公開のものに限る。但し口頭で発表し、これを初めて論文にまとめたものは可とする。

原稿枚数は 400 字詰原稿用紙で、本文、注、図版等を含めて、「論叢」43 枚以内、「文苑」「実践研究報告」「教材研究」31 枚以内とする。（会誌の書式は 27 字×22 行の二段組を 1 ページとする）。

縦書きを原則とし、特に必要のない限り、旧字体は用いない。

引用文には、内容に応じて原文、書き下し文、訳文等をつける。特に必要のない限り、訓点は用いない。

注は各章、各節ごとにつけず、通し番号を施して、末尾に一括してつける。

図版原稿は、そのまま版下として使用できるものに限る。多数を掲載する場合は、加算された印刷費が執筆者の負担となることがある。

完全原稿を旨とし、校正時の大幅な加筆改稿は認めない。

3. 応募方法、締切

学会ホームページの会員専用サイトにある投稿フォームからの投稿を原則とする。

データは MicrosoftWord もしくは JustSystems 一太郎で作成したデータ（.docx 形式、.jtd 形式）と PDF の 2 形式を用意すること。

申込時に投稿者の住所、氏名、電話番号、所属先、メールアドレス、投稿領域、その他必要事項を投稿フォームに入力すること。

移行措置として、当面の間、下記郵送先への郵送も受けつけるが、その場合、事前に学会の問合せフォームからその旨申し出ること。直接の持参は認めない。

郵送の場合は、投稿原稿紙媒体 1 部及び電子データを同封すること。投稿者の住所、氏名、電話番号、所属先、メールアドレス、投稿領域を書いた別紙を同封し、封筒には「投稿原稿在中」と明記すること。郵送物は原則として返却しない。

〈投稿郵送先〉 〒113-0034 東京都文京区湯島 1-4-25

湯島聖堂内 全国漢文教育学会

締切はいずれも 8 月末日必着とする。

4. 採否

応募原稿は編集委員会が委嘱する査読者が査読し、編集委員会の議を経て、採否、掲載号、掲載領域を決定する。審査結果は、投稿者に直接通知する。査読基準は別に定める。

5. その他

著者校正は、原則として二校を上限とする。

掲載者には会誌 5 部を贈呈する。

抜刷は実費負担とし、(株)研文社(編集協力)に著者校正終了時までに申し込むこと。

会誌に掲載された論文等の著作権は原則として本学会に帰属する。(ただし、著者が自らの論文集等に転載する場合はその限りではない。)

会誌に掲載された論文等は本学会が電磁的記録として保存し、インターネットにより公開できるものとする。

令和 7 年 9 月 10 日改訂

査読規程（案）

1. 査読者の選定

編集委員会が原稿ごとに査読者を決定する。

2. 掲載可否の決定

(1) 査読は 2 名の査読者によって行われる。

(2) 査読者は、「掲載可」、「条件付掲載可（修正の上、掲載可）」または「掲載不可（大幅な修正を必要とする等のため）」を判断し、報告書を作成して編集委員会に提出する。なお編集委員会は、査読結果に基づき、投稿者の同意を得て他の領域の原稿として掲載することができる。

(3) 投稿論文原稿についての採否は、編集委員会の総意により決定する。編集委員会の依頼による原稿についても投稿論文と同じように扱う場合がある。いずれの場合も、必要に応じて編集委員会から投稿者に原稿の修正を求めることができる。

令和 7 年 6 月 22 日